

学習院大学図書館所蔵

# 貴重資料展

第3回

信貴山縁起繪

伴大納言繪



# 信貴山縁起繪

奈良県生駒郡にある「信貴山」。ここで修行した命蓮（みょうれん）という僧の奇跡譚がこの『信貴山縁起繪』である。「縁起繪」というと、社寺の縁起（いわゆる創建の経緯など）が描かれているものを指すが、『信貴山縁起繪』は上述の通り一般的な「縁起繪」とは異なる。

法力で山崎の長者宅へ飛ばした托鉢の鉢が、長者の米倉の中に鍵を掛けて放っておかれると、倉ごと鉢が信貴山へ飛んでくる「山崎長者の巻（飛倉の巻）」、醍醐天皇の病を信貴山にしながら祈禱で平癒させる「延喜祈禱の巻」、そして命蓮の姉・尼公（あまぎみ）が弟の身を案じ奈良方面を探しに出たところ、夢で東大寺の大仏様に居場所を教えてもらい再会を果たす「尼公の巻」の三巻から成る。

原本は、朝護孫子寺（ちょうごそんしじ；信貴山真言宗の総本山）の所有で、国宝。現在は奈良国立博物館に寄託されている。

## < 展示資料情報 >

| 請求記号           | 巻      | 配架場所   |
|----------------|--------|--------|
| 721.2A/Sh29s/1 | 山崎長者の巻 | 大学図・貴重 |
| 721.2A/Sh29s/2 | 延喜加持の巻 |        |
| 721.2A/Sh29s/3 | 尼公の巻   |        |

## < 参考文献 >

| 請求記号       | 書名等  | 配架場所      |
|------------|--|-----------|
| 721/542    | 泉武夫著. 信貴山縁起繪巻：躍動する絵に舌を巻く. 小学館, 2004. (アートセレクション)   | 大学図・1F 書庫 |
| 708/41/39  | 村重寧解説. 信貴山縁起繪巻：国宝絵巻. 岩崎美術社, 1979. (双書美術の泉；39)  | 大学図・1F 書庫 |
| 709/132/12 | NHK 取材班著. 愛知 茶室・如庵；奈良 朝護孫子寺/信貴山縁起繪巻；奈良 室生寺；滋賀 園城寺. 日本放送出版協会, 1988. (NHK 国宝への旅 / NHK 取材班著；第12巻) | 大学図・1F 開架 |

# 伴大納言繪

「応天門の変」を題材に取った絵巻物である。『伴大納言絵詞』あるいは『伴大納言絵巻』とも。大納言・伴善男（ともおよしお）が左大臣・源信（みなもとのまこと）に放火の罪を擦り付け失脚を目論むも、証拠がなかったため、太政大臣・藤原良房（ふじわらのよしふさ）の取りなしによって処分留保となる。後日、伴大納言の出納の子と、舎人の子の喧嘩をきっかけに、伴大納言の罪が暴かれる。これらの経緯を描いた作品である。

作者は常盤光長（ときわみつなが）とされている。後白河法皇の命で『年中行事絵巻』を描いたとされており、その筆致から『伴大納言繪』にも携わっていると推定されている。

ところで、当館にはもう一点『伴大納言絵巻』が所蔵されている。絵巻と言いつつも折本の形態ではあるが、複製ではなく写本（書き写した資料）であり非常に貴重な資料である。

## < 展示資料情報 >

| 請求記号          | 巻  | 配架場所   |
|---------------|----|--------|
| 721.2A/B17b/1 | 上巻 | 大学図・貴重 |
| 721.2A/B17b/2 | 中巻 |        |
| 721.2A/B17b/3 | 下巻 |        |

## < 参考文献 >

| 請求記号      | 書名等   | 配架場所   |
|-----------|---|--------|
| 721/466   | 黒田日出男著. 謎解き伴大納言絵巻. 小学館, 2002.                         | 大学図・書庫 |
| 721/464   | 思いっきり味わいつくす伴大納言絵巻 / 黒田泰三著.-- 小学館, 2002.-- (アートセレクション) | 大学図・書庫 |
| 旧 730/16* | 伴大納言絵巻. 詳細不詳.   | 大学図・貴重 |

\*旧：旧分類（昭和初期以前に受け入れた資料の請求記号体系）のこと

# おわりに

---

百人一首歌留多および日本の四大絵巻物について、今回まで3回の貴重書展示を行なった。当館ではこの他にもさまざまな貴重書を所有しているが、こうした貴重な資料を現状のまま後世に引き継いでいくためには、直接原本を手にとってお見せできる機会を設けることができない。

図書館では、このような貴重な資料を古くはマイクロフィルム化し、現在はデジタル撮影を行い、原本を損なうことなく閲覧できるように整備しているところである。インターネット公開も進んでおり、デジタル化した資料は学習院大学デジタルライブラリー（<http://glim-els.glim.gakushuin.ac.jp/>）に掲載している。前出の『伴大納言絵巻』（写本）も、学内からであれば閲覧可能となっている。

歴史のある本学が保有する資料には、名目として「貴重書」と指定されているもののほかにも、京都学習院時代の旧蔵書や歴代院長からの寄贈本等、歴史的・資料的価値の高いものが多い。今後、このような資料を展示できる機会を増やしていきたいと考えている。

---

平成 25 年 9 月 16 日

学習院大学図書館所蔵貴重資料展 第 3 回

大学図書館情報サービス課 佐藤飛鳥